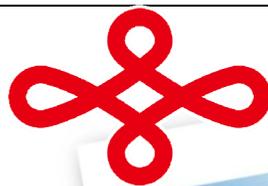


西尾市の公共FM戦略の歩み 起点 22年度(2010):新市基本計画→公共施設の統合と適正配置の方針

年 度	西尾市が実践してきた公共FMの主な取り組み	推進組織
<p>Step 1 23年度(2011) 【Management policy】 現状分析・問題把握 基本計画策定</p>	<p>①基本計画の策定・公表（資料編に公共施設白書2011） 公共施設のデータベース化を図り、その現状と課題を把握して公共施設の新たなマネジメント方針として基本計画を策定 ●市民の意見集約：市民意識調査、利用者アンケート（支所機能施設）、パブリックコメント</p>	<p>企画部 企画政策課 公共施設対策プロジェクトチーム（4人）</p>
<p>Step 2 24年度(2012) 【Pre Plan】 実施計画策定準備</p>	<p>②第1次実施計画の策定準備、公共FM研修会開催 基本計画に基づく具体的な再配置プランを学識経験者及び市民参画による再配置検討WG、再配置Eモニターで検討 ●市民の意見集約：再配置検討WG、再配置Eモニター（電子メールを通じて意見を提出していただく市民）、市政世論調査、利用者アンケート（歴史資料館機能施設） ③公共施設白書2012の公表 ④公共施設（構造体・建築物）劣化調査 ※下線=委託業務</p>	<p>企画部 企画政策課 公共施設経営室（4人） 公共施設再配置検討ワーキンググループ（9人）</p>
<p>Step 3 25年度(2013) 【Plan】</p>	<p>⑤第1次実施計画の策定・公表、FM・PPPスクール（職員研修）開催 ●市民の意見集約：再配置検討WG、再配置Eモニター、パブリックコメント ⑥公共施設白書2013の公表 ⑦公共施設（構造体・建築物）劣化調査、PFI新方式実現可能性検討調査</p>	<p>公共施設再配置Eモニター（7人）</p>
<p>Step 4 26年度(2014) 【Do】 実施計画稼働</p>	<p>⑧第1次実施計画の稼働、ハコモノ改革の映像シンポジウム→11月29日 ●市民の意見集約：市民説明会、市民ワークショップ（にしお未来まちづくり塾） ⑨公共施設白書2014の公表 ⑩官民連携推進支援業務（新たな官民連携手法の導入支援） 26年度以降P D C Aサイクルで計画管理。第2次実施計画の策定準備</p>	<p>総務部 資産経営課（4人） にしお未来まちづくり塾（45人）</p>

公共施設再配置モデル事業の立案・実施
実施計画稼働までに着手可能な8つの再配置プランをモデル的に実施→P D C Aサイクルに基づく進捗状況は白書で毎年、公表

平成26年3月策定



The theme of a plan **新**たなまちづくりの出発点・
建物の安全性の確保・官民連携手法の活用

西尾市公共施設 再配置**実施**計画 2014→2018



We, public servants, have written and edited this plan.

平成26年度から30年度までの5年間（第一次実施期間）に着手する8つの再配置プロジェクトなどをまとめた3部構成の**FM戦略**

第1部 ガイダンス編

基本計画の復習、実施計画の概要、再配置目標値（財務・供給）、多様なFM手法（**長寿命化・多機能化・再生・PPP・PFI・資産運用**）（50頁）

- 30年間の**LCC削減効果**目標 **約731億円**
第1次実施計画 →約139億8,900万円（予定）
- 30年間の**保有総量（延床面積）の削減**目標 **約16%（約8万6千㎡）**
第1次実施計画→約1万3千㎡（予定）

第2部 再配置戦略編

平成26年度から5年間で取り組む**8つの再配置プロジェクト**について、2年間にわたるワーキンググループなど市民の声を踏まえて策定した再配置プランに至るプロセスを中心に説明。実施計画の中心部分（114頁）

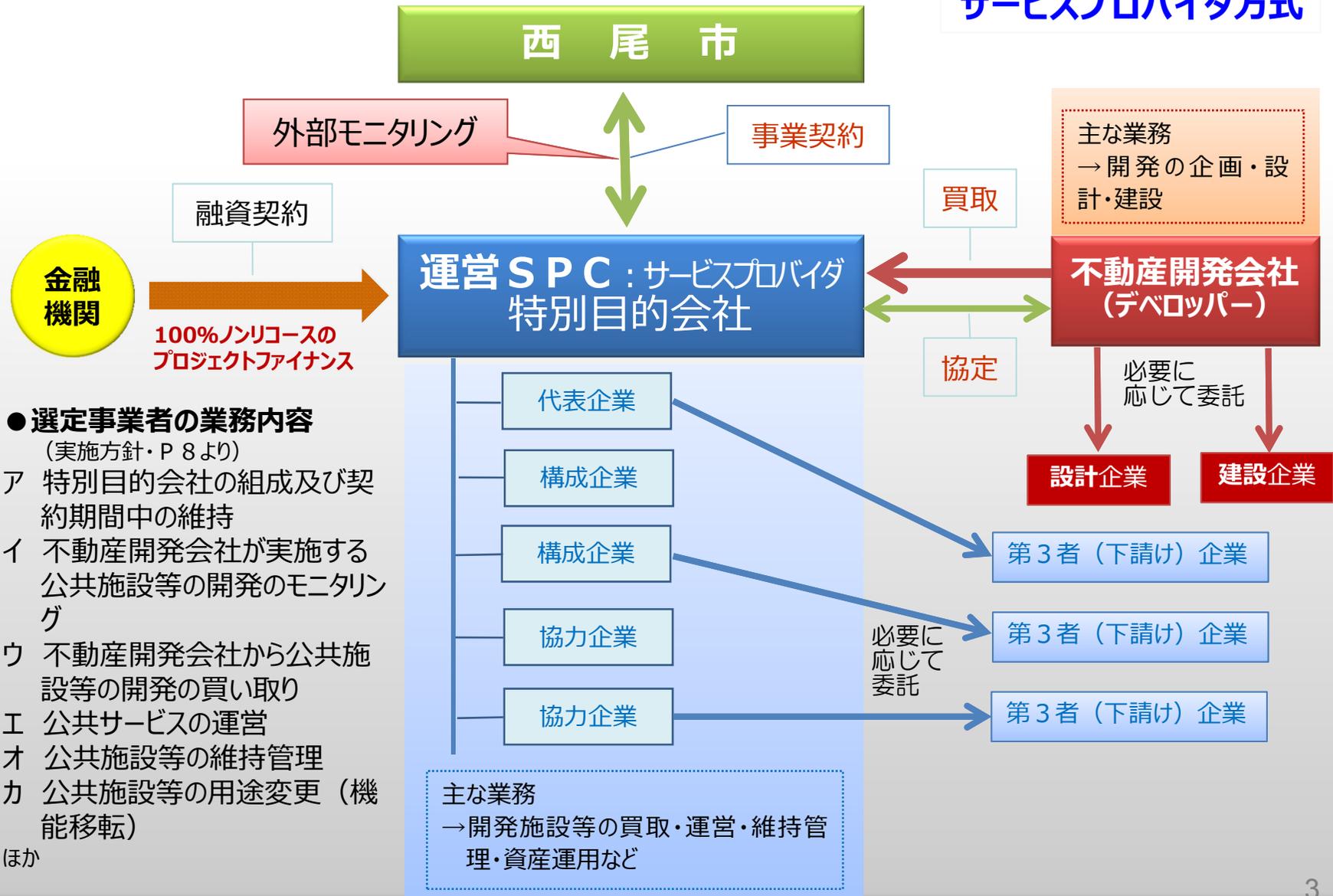
実施計画の中心はココ↑

第3部 資料編

実施計画策定にいたる検討過程に関するワーキンググループの記録、施設劣化調査、PFI新方式導入調査、用語集をまとめた（131頁）

新たな官民連携手法（西尾市方式）として導入を進めているPFIの新方式

サービスプロバイダ方式



● 選定事業者の業務内容

(実施方針・P 8より)

- ア 特別目的会社の組成及び契約期間中の維持
- イ 不動産開発会社を実施する公共施設等の開発のモニタリング
- ウ 不動産開発会社から公共施設等の開発の買い取り
- エ 公共サービスの運営
- オ 公共施設等の維持管理
- カ 公共施設等の用途変更（機能移転）

ほか